

KSK

発行 KSK 神奈川県障害者定期刊行物協会  
〒222-0035 神奈川県横浜市港北区鳥山町1752番地  
障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3F 横浜市車椅子の会内

# あゆみ会報

2021年2月号 第162号

編集 湘南あゆみ会  
〒254-0807 平塚市代官町21-4 SEA平塚ビル3F フレンズ湘南内  
TEL/FAX 0463-24-0420  
定価 50円（会員は年会費に含まれています）

## 報告

じんかれん巡回学習会 in 小田原

### 「オープンダイアログ（開かれた対話）とは何か？」

～訪問看護におけるオープンダイアログの実践～

2月6日（土）13:30～16:00

ZOOMによるオンライン会議形式で行われました。

出演者 三ツ井直子さん（訪問看護ステーション KAZOC）ほか看護師、家族等3名

新型コロナウイルス感染防止の緊急事態宣言が出される中で行われたこの学習会は、海老名、鎌倉、小田原の3開催地全て、初めてオンライン形式で行われました。オンライン参加者 約40名  
フィンランドで始められたオープンダイアログには以下の7つの原則があります。

- 1 必要に応じて直ちに対応する
- 2 クライアントと繋がりのある人々を皆、治療ミーティングに招く
- 3 その時々ニーズに合わせて、どこでも、何にでも、柔軟に対応する
- 4 治療チームは必要な支援全体に責任をもって関わる
- 5 クライアントを良く知っているチームが、最初からずっと続けて対応する
- 6 答えのない不確かな状況に耐える
- 7 対話を続けることを目的とし、多様な声に耳を傾ける

この中で強調されたのは、多様な声に耳を傾けるということでした。

これまでは医者には患者から話を聞いて薬を出す。

これで適切な治療といえるのでしょうか。これでは単に診断のための情報収集です。患者が感じた事を出せる場、全ての人の声が大切にされる場が必要ではないでしょうか。

また、現在の治療では本当のことを云うと薬を増やされるのではないかという心配があり、患者にとって安全な場とはいえません。

訪問看護の場では「今日はどんなことを話したいですか」という質問から入ります。こちらの心に浮かんでくる質問はあえて出さず、患者さんの思いを話してもらうことを重ねていきます。これまでのやり方からオープンダイアログに代わっていくには時間がかかります。ですが、自分が受け入れられたという思いをすれば、少しずつ信頼関係ができて来ます。医療者はそういう場を作ることが必要です。

対話実践の場で大切にしていることは、全ての人の声が大事にされるということです。医者は本人、家族の声を聞いても自分の声を云いません。オープンダイアログでは聞いている医療者の声も大事にされます。そのためにリフレクティングという手法を使います。「はなす」こと（他者との会話）と「きく」こと（自分との会話）、この2種の会話を丁寧に重ねあわせ、うつつこみ合わせながら展開していく工夫に満ちた方法です。

この後、実際にリフレクティングのデモンストラーションが行われ、参加者から様々な質問が出され、有意義な時間を共有することができました。



令和2年度平塚市福祉相談員研修

## 「発達障がい理解と 相談におけるポイント」

(You Tube 動画配信)

講師 発達障害支援センターかながわ A

小林直人氏

### 発達障害の定義（発達障害者支援法第2条）

自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥・多動性障害その他これに類する脳機能の障害であって、その症状が通常低年齢において発現するもの。

### それぞれの障害の特性

#### ❖自閉症

●言葉の発達の遅れ ●コミュニケーションの障害 ●対人関係・社会性の障害 ●パターン化した行動、こだわり

#### ❖アスペルガー症候群

●基本的に言葉の遅れはない ●コミュニケーションの障害 ●対人関係・社会性の障害 ●パターン化した行動、興味・関心のかたより ●不器用

#### ❖学習障害 (LD)

●読む、書く、話す、計算する、推論する等の能力が全体的な知的発達に比べて極端に苦手

#### ❖注意欠陥・多動性障害 (ADHD)

●不注意（集中できない） ●多動、多弁（じっとしてられない） ●衝動的に行動する（考えるよりも先に動く）

**自閉症スペクトラム障害 (ASD)**（自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害等を含む総称）の3つの特徴

#### 1) 対人関係・社会性の障害

・他者とのやり取りが苦手 ・他者の意図や感情が読み取りにくい ・共感性が乏しい

#### 2) コミュニケーションの障害

・特異な言い回し、話し言葉を理解することが困難、字面通りの解釈で冗談が理解できない ・不必要に大きな声で会話

#### 3) パターン化した行動、こだわり

・興味のかたより ・決まり切ったパターンへの固執 ・見通しがつかないと著しく不安になる

### 強度行動障害とは

直接的他害（噛みつき、頭突きなど）や間接的  
他害（睡眠の乱れ、同一性保持など）、自傷行為等  
が通常考えられない頻度と形式で出現し、その養

育環境では著しい処遇困難が持続している状態  
なぜ強度行動障害になるのか

障害特性×環境要因⇒強度行動障害

「分からない」「伝わらない」の積み重ね

情報・刺激の独特な理解 独特な表現や行動での表出 人への嫌悪感・不信感

### 相談における実践 発達障害への支援の視点

#### 1. 地域でかかわる時の視点

・環境的な工夫 自分の周囲で起きていることの意味を理解し、時間の推移や経過の見通しを理解しやすくする。

・対象者の特徴に合わせた工夫 刺激に反応しやすい特徴があるならその刺激に触れさせない環境を作る。

・苦手さを補えるような工夫 目印、道具など。

・物理的な工夫 一つの場所を多目的に使わない。場所の境界を目で見て分るようにする。気が散らないようにする。

・時間の工夫 何を、どの位、いつまでやるのか、分からないことによる不安をなくす。

#### 2. 支援にかかわる時の視点

##### ◆日常生活で誤解されやすいこと

・できることとできないことの差がある。

→やればできるんじゃないか？

・できる時もあればできない時もある。

→さぼってる。わがまま。親のしつけ？

##### ◆発達に偏りがあることでどんなことがおきやすいか

・ネガティブな体験をしやすい。

・本人の辛い気持ちが見過ごされてしまう。

→本人を追い詰めてしまう。誰も助けてくれない。→環境・他者への不信感

### 発達障害の方の支援の困難さ

主に社会の中でおきてくる→場面・状況・対応によって支援が異なる

↓

本人の努力と結果が結びつかない

↓

適切な支援に結びつかないと…周りは助けてくれないと思う

↓

憂鬱な気分・不安

↓

社会からの孤立・二次的な問題（精神症状・ひきこもり）

### 発達障害がある方の自立とは

●「出来ることは自分で。出来ないことは助力を得ながら。」

●「保護者だけに頼るのではなく、地域や社会の人や資源を活用しながら生きて行くこと」

●重度の障害があってもその人なりの自立を目指す

### 周りの人が陥りやすい考え方（避けたい考え方）

○発達障害の人を治す 普通に近づける

○沢山の友達を作る

○苦手な事を我慢する（そのうち慣れてくる）

○IQを上げる

○障害を克服する

### 適切な支援の目的

○苦痛を減らす

○意味の分る環境を提供する

○得意な事を活かせるようにする

○必要な支援を他者に求められるようにする

○自尊心や自己効力感を持てるようにする

### 「みんな違ってみんないい」社会

♡健康な自己認知（他人との違いを受け入れ、それでも自分は価値があると思えること）

♡上手くできないことはそのことを説明したり、他者を適切に頼れるようになること

♡苦手さを自覚し、自分なりの対処法を知り、それを活用できるようになること

♡児童期～思春期において「自分を理解してくれる人がいた」という経験があり、社会・他者は怖いものではないと思えること

### 肯定される体験・受け入れられる体験の大事さ



### これからの予定

#### 3月定例会 S S T勉強会

3月23日（火）午後1：30～4：30

ひらつか市民活動センターA会議室

コロナ禍がなかなか収束しない状況ですが、十分な注意を払って開催します。

体調の悪い方は大事をとって参加を控えていただきますようお願いいたします。

#### 4月定例会 定期総会

4月19日（月）午後1：30～3：30

定期総会を予定していますが、このような時期でもあり、変更する場合があります。

#### 平塚市福祉会館まつり

3月19日（金）20日（土） 10：00～14：30

新型コロナウイルス感染防止の緊急事態宣言が出されたため、販売部門と催し物部門は取りやめとなり、展示部門のみが規模を縮小して行われます。

#### サロンあゆみ

2月19日（金）午後1：00～3：00

会場：ひらつか市民活動センターB会議室

コロナ感染に充分注意しながら開催します。

3月は平塚市福祉会館まつりに参加するためお休みとなります。



#### 精神保健福祉ボランティアグループ

#### こんぺいとうのお知らせ

2月13日（土）13：30～お茶会 参加費 100円

中央公民館 3F 和室

2月20日（土）13：30～定例会

福祉会館第3会議室

3月13日（土）13：30～お茶会 参加費 100円

中央公民館 3F 和室

仲良く 無理せず 機嫌よく



## 投稿 「コロナ禍に思う」

新型コロナウイルスは寒さと共にますます感染が拡大し、1月7日、政府は2回目の緊急事態宣言を発令しましたが、なかなか勢いは収まる様子がありません。医療現場は逼迫していると前々から心配されていましたが、いよいよ、自宅で待機中の方が亡くなるという事態にまでなってきました。高齢者、また基礎疾患を持った人は重症化しやすく、死亡する率が高くなっています。毎日発表される神奈川県感染者数も増え続け、平塚市でも5人、7人と出ていますが、どこの病院に入院しているのでしょうか。

障害を持った方たちの心配は如何ほどでしょうか。目の不自由な方、耳の不自由な方、意思の疎通に不自由を覚える方、透析を受けている方など。精神科病院でも集団感染が起きたという報道がありましたが、十分な治療を受けられているのか心配です。

広島市では約80万の市民が無料でPCR検査を受けられるようにするという発表がありました。平塚市でも希望者には全員にPCR検査を受けられるようにしてほしいこと、また、万一コロナウイルスに感染した場合には、障害者本人だけでなく介護者も隔離出来る場所を確保してもらえるように、平塚市障害者団体では落合市長に要望書を提出することになりました。

一部の政治家の言葉として、自助、共助、公助という言葉が言われていますが、こういう時こそ公助で国民の命を守ってほしいものと思います。  
(y. y)

### いそがしい時の簡単レシピ

#### 「さば缶と大根の煮物」

材料(2人分) 大根 300g さば水煮缶 1個 生姜適量  
(チューブでも良い)

A(水 100ml 砂糖とみりん各大サジ1 醤油大サジ2)

#### 作り方

1. 1センチ厚さのイチョウ切りにした大根を鍋に入れ、Aを入れ蓋をしてやわらかくなるまで煮る。
2. 柔らかくなったらさば缶を汁ごと入れ生姜を入れてさっと煮れば出来上がり。召し上がれ。



## 「映画の感想」

記録映画「花のあとさき ムツばあちゃんの歩いた道」を観て

埼玉県秩父市吉田太田郡、山間の段々畑に花を植え続けた夫婦と小さな村の物語です。

かつては養蚕や炭焼きが盛んで100人以上住んでいた村が平成13年には9人、平均年齢73歳となっていました。

小林ムツさん67歳と夫の公一さんが生業としていた養蚕は、時代の流れとともに廃業となり、「長い間お世話になった畑が荒れ果てて行くのは申し訳ない。せめて花を咲かせて山に還したい」。それはまるで故郷に花を手向け、終わり支度をしているかのようでした。

二人が心がけていたのは、何時の日か誰も世話をする人がいなくなっても咲く、丈夫な花を育てること。人も花も老いて枯れる時が来ても命が次に引き継がれるように・・・。

暮らす人が年々いなくなる小さな村は、春、色とりどりの花に包まれるようになりしました。福寿草に始まってレンギョウ、花もも、やまつつじ。潤いの雨を受けてアジサイが咲き、秋は苗木の時から夫婦で育てたモミジが彩ります。「いつか人が山に戻ってきた時、花が咲いていたらどんなに嬉しかろう」。柔らかな笑顔でそう言っていたムツさんも、やがて山の自然に還っていきました。

丸顔のあどけない顔つきが年と共に美しく、いきいきとしていたのは、ムツさんの暮らしが花の命と共にあったからでしょう。

85年間、斜面に這いつくばっての山の暮らしの終焉は、花と小鳥のさえずりと、大自然に抱かれています。涙 涙 涙・・・ (m. w)

